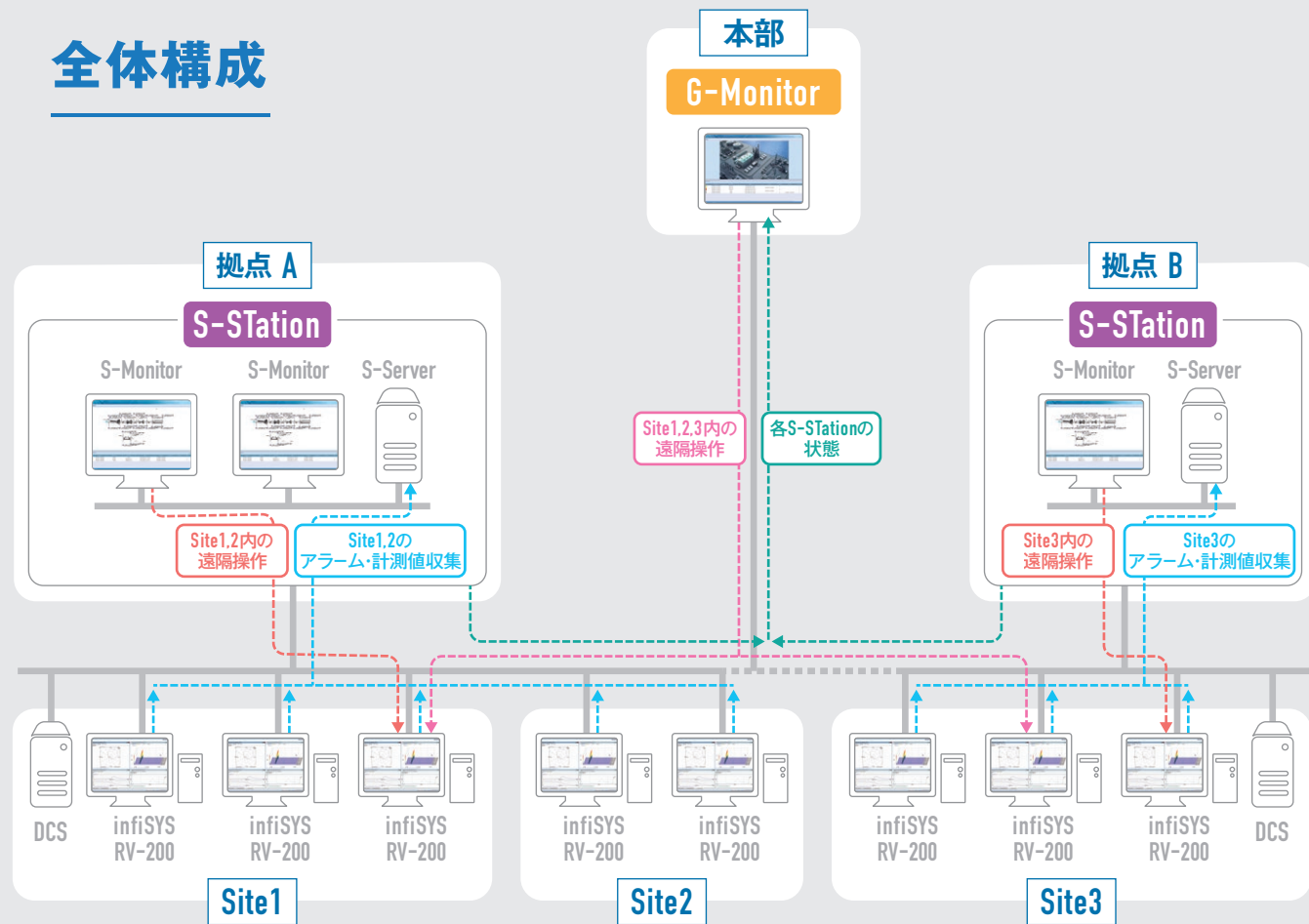


全体構成



1つの S-Station で最大30台までの infiSYS ビューステーションを統合監視できます。
さらに、G-Monitor から最大10システムの S-Station をカバーできます。

複数のエリアに点在する回転機械の状態を
統合監視するプラットフォーム

S-Station

販売元 新川電機株式会社

東京本社 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル3階
TEL:03-3263-4411 FAX:03-3262-2171

広島本社 〒730-0029 広島県広島市中区三川町10-9
TEL:082-247-4211(代) FAX:082-249-6438

E-Mail st-mkt@shinkawa.co.jp
URL https://www.shinkawa.co.jp

製造元 新川センサテクノロジー株式会社

〒739-0153 広島県東広島市吉川工業団地4-22
TEL:082-429-1118(代) FAX:082-429-0804

E-Mail info@sst.shinkawa.co.jp
URL https://www.shinkawa.co.jp/sst

2021年2月発行

本部にいながら、世界中の振動トラブルをリアルタイムに把握！

—— こんな「したい」を実現！ ——

回転機械の
安定稼働を
実現したい

複数
プラントの
集中監視が
したい

振動診断
技術者による
解析・診断を
実施したい

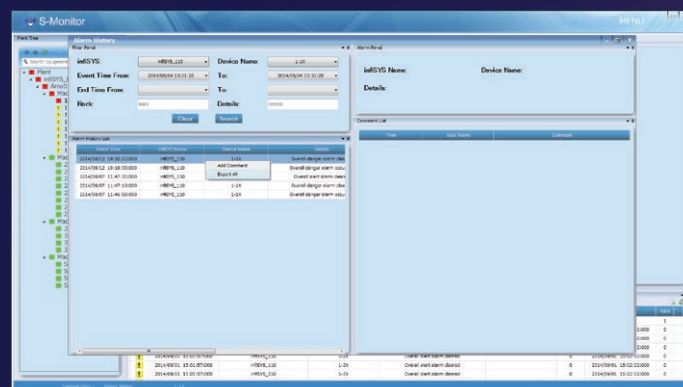
可能にするのは、各プラントの中核を担う回転機械の一元監視。

振動解析を行うためにはトレンドデータだけでなく、ダイナミックな情報を含む大容量な波形データも必要であり、infiSYSはそれらのデータを常時収集、保存しています。しかし、相互に離れたエリアや世界中に点在する多数のプラントを、たとえばその本部(*)で一括管理しようとした場合、各infiSYSの大容量なデータを全て本部(*)に伝送して取り扱うのは非現実的です。

新川電機の「S-STation」なら、振動解析診断システム「infiSYS RV-200」からアラームやイベント情報など必要な情報だけを収集、管理し、どのプラントの機械に異常が発生しているのかを瞬時に伝達。さらに、特定のinfiSYSにリモートアクセスして、専門知識のある振動診断技術者によるリアルタイムな診断も可能です。たとえ海外拠点であっても、本部(*)から安心・安全を支えられます。

※本部とは、振動診断技術者や各種専門技術者が常駐して全社のプラントを監視している本社部門やサポート拠点を指す。

アラーム監視機能



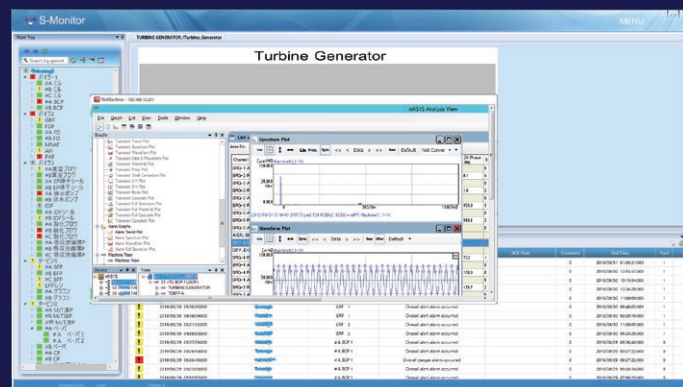
infiSYS RV-200からのアラーム状態を表示し、全ての回転機械の振動警報を一元監視できます。
アラーム情報はデータベースに蓄積される他、コメントを追記できます。

トレンド表示機能



複数のinfiSYS RV-200の振動データを、トレンドグラフに表示でき、異なる回転機械の状態を比較できます。
または、同じ回転機械で異なる時期の振動データを比較できます。

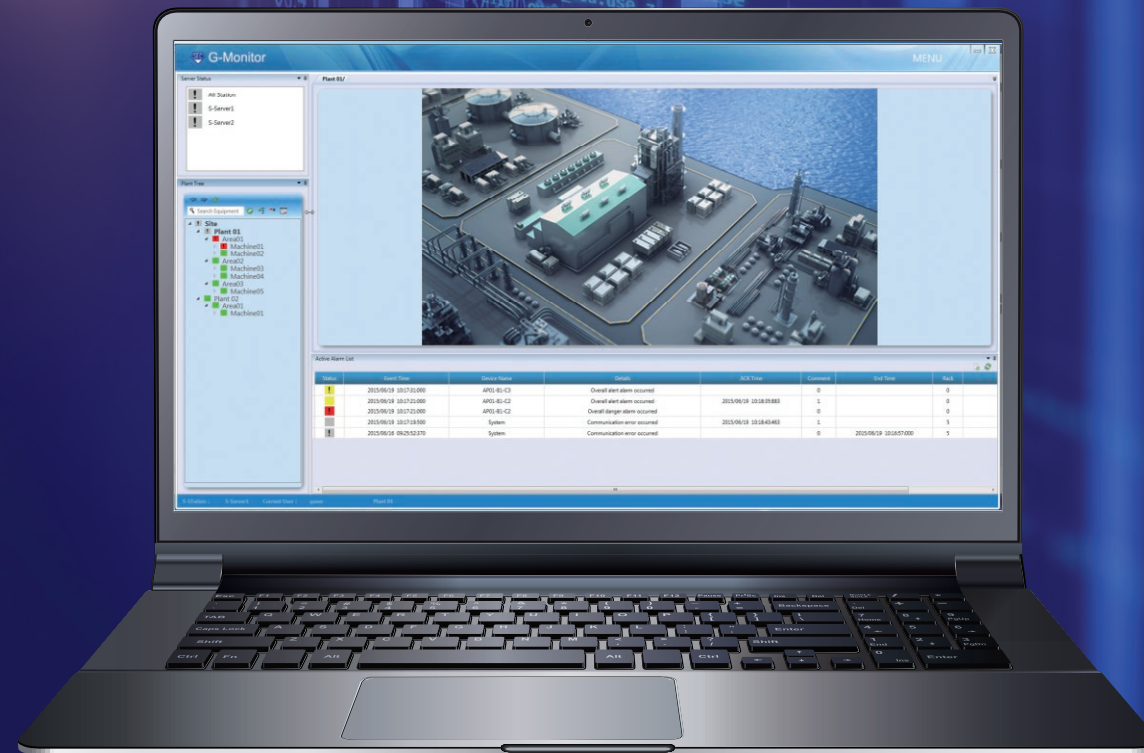
遠隔操作機能



離れた場所にあるinfiSYS RV-200にリモートアクセスでき、リアルタイムに振動解析および診断機能を遠隔利用できます。*

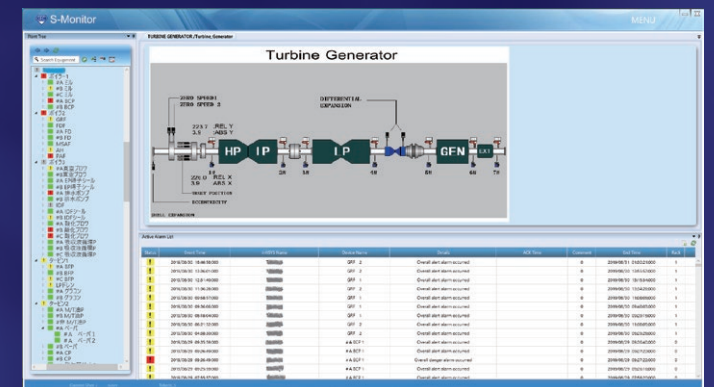
*NoMachine社のNoMachine Enterprise Desktopを使用。

S-STation が提供する 統合監視を支える4つの機能



▲ S-STation の画面表示例

計測値表示機能



infiSYS RV-200から得られた振動値やプロセス値、その他のシステムからOPCサーバ経由で受け取ったプロセス値をグラフィック画面*に表示できます。

*グラフィック画面はS-Editorパッケージを使って作成します。